問 自転車の安全教育は継続実施すべき

答 この取り組みは重要な教育活動である



新政とうかい
越智（おち） 辰哉（たつや） 議員

問 学校現場における交通安全教室での自転車の正しい交通マナー等に関する指導の現状は。

答 小学校では交通安全講話を行い、交通ルール等を中心に学習している。また中学校では、グラウンドおよび学校周辺の村道や交差点で実技指導を実施している。これらの取り組みを通し、自転車の正しい交通ルールや安全な利用方法についての教育に努めている。

問 本村は大半の中学生が自転車通学であるため、今後もこうした機会はしっかりと確保すべきと考えるが。

答 この取り組みは次年度以降も継続して実施すべき重要な教育活動であると考えている。

問 中学1年生に配布する通学用ヘルメットがスポーツタイプに変更されたが、生徒たちの受け止めや着用状況に変化は見られるか。

答 生徒からは「軽い、通気性がいい」など好意的な意見がある。また、保護者からは「通学時だけでなく休日でも積極的な着用が見られる」との声を聞いている。



中学校で実施された実技指導の様子

一般質問

委員会レポート

建設産業委員会

中央地区区画整理事業について確認しました

建設産業委員会では、10月7日、道路や公園などの公共施設を計画的に整備し、自然と調和した暮らしやすいまちづくりを進める「中央地区区画整理事業」の進捗状況を確認しました。

当日は、担当課から現在の事業の進捗状況や今後の工事スケジュールについて説明を受けた後、実際に工事が進められている1号根崎緑地調整池などを現地視察しました。

今回の視察を通じて、事業が着実に進められており、交通利便性が向上していること、民間投資の対象として高い評価を受けていること、調整池の整備を通して雨水対策機能が強化させていることなどが確認できました。今後も安全かつ早期に完成を迎えるよう、引き続き調査・確認を行っていきます。



1号根崎緑地調整池で工事内容の説明を受ける委員